

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち				
施策	快適に暮らせるまちづくり				
基本施策	快適な都市機能の維持				
取り組み事項	下水道事業の健全経営と維持管理を図る				
主管部局	建設農林部 下水道課	関連部局			

めざす暮らしの姿

快適な都市機能の維持

基本方針

下水道施設や道路施設など日常生活に密着する公共インフラについては、計画的かつ効率的に整備及び維持管理を行い、快適な都市機能のいじに努めます。

施策の方針

下水道事業の適正な運営及び施設の維持管理により安定した汚水処理を図りながら、下水道事業の健全経営を図ります。

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	4.83	4.83	6.0	6.0	0.0	0.0
会計年度任用職員数	0.77	0.77	1.0	1.0	0.0	0.0
人件費計	33,863,392	38,076,706	40,425,614	43,933,286	0	0
事業費計	1,286,555,000	1,288,457,000	1,322,575,000	1,045,074,000	0	0
フルコスト	1,320,418,392	1,326,533,706	1,363,000,614	1,089,007,286	0	0

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源						
国庫支出金		3,369,000			0	0
県支出金					0	0
市債					0	0
その他					0	0
一般財源1	1,320,418,392	1,323,164,706	1,363,000,614	1,089,007,286	0	0
一般財源2	1,286,555,000	1,285,088,000	1,322,575,000	1,045,074,000	0	0

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	経費回収率					
単位	%					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	90	90	90	90	90	90
単年度実績値	89.8	98	97.4			
単年度達成率	99.77%	108.88%	108.22%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	経費回収率
前年度との比較	↓: 低下
所見	人口減に伴う下水道使用料の減少により、前年度より数値は減少したが、目標値内のため順調に推移している。

構成事務事業の事後総合評価

[illegible]

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
下水道事業	

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
経費回収率	108.22%	↓:低下	97.4%
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	108.22%	高	B:おおむね順調
	達成状況の原因分析、説明等		
	人口減少により、数値は減少したが、令和4年度の下水道使用料の改定により経費回収率の目標達成率は、100ポイントを上回っている。		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい 下水道事業の適正な運営及び施設の維持管理により安定した汚水処理を図りながら、下水道事業の健全経営を図ります。
構成事務事業に課題はないか	保留
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗している 経費回収率が目標値を下回らないように、下水道使用料について、定期的に改定を検討していく。
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	
今年度の成果等	公共用水域の水質保全と公衆衛生の向上を継続的に図るため、下水道施設の包括維持管理業務委託により、民間のノウハウを最大限活用し、処理施設の延命化を図りながら、質と効率性を両立した下水道施設の維持管理業務を継続し、引き続き水質要求基準を達成した。また、雨水対策については、赤坂雨水幹線築造工事及び那波ポンプ場長寿命化工事を実施した。
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち				
施策	快適に暮らせるまちづくり				
基本施策	快適な都市機能の維持				
取り組み事項	道路などの整備と適切な維持管理に努める				
主管部局	建設農林部 都市整備課	関連部局			

めざす暮らしの姿

快適な都市機能の維持

基本方針

日常生活に密着する公共インフラについて、計画的かつ効率的に整備及び維持管理を行い、快適な都市機能の維持に努める。また、市域全体を見据えた中で、各地域の実情に合った土地利用を促進し、秩序あるまちづくりを計画的に進める。
--

施策の方針

中心市街地への通過交通の回避と市街地間の一体性を高めるため、幹線道路などの整備の促進を図る。また、生活道路及び老朽化する橋梁の状態を適切に把握し、計画的な改良及び維持修繕を行う。

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		3.32	3.85	4.42	4.42	0.0	0.0
会計年度任用職員数		0.63	0.77	0.74	0.74	0.0	0.0
人件費計		23,418,538	30,579,822	29,785,192	32,370,550	0	0
事業費計		282,263,695	388,916,029	355,080,267	390,073,000	0	0
フルコスト		305,682,233	419,495,851	384,865,459	422,443,550	0	0

(2) 歳入

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	97,298,000	89,496,000	93,643,000	93,550,000	0	0
	県支出金					0	0
	市債	78,852,000	108,600,000	123,000,000	119,200,000	0	0
	その他	1,401,920	29,073,000	29,254,000	29,213,000	0	0
	一般財源1	128,130,313	192,326,851	138,968,459	180,480,550	0	0
一般財源2		104,711,775	161,747,029	109,183,267	148,110,000	0	0

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	【量】道路愛護事業参加人数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	6,180	6,200	7,100	6,700	6,700	6,700
単年度実績値	6,180	7,006	6,726			
単年度達成率	100%	113%	94.73%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	【量】道路愛護事業参加人数
前年度との比較	↓: 低下
所見	高齢化に伴い参加人数が減少したが、地域の道路美化を維持していくためには、地域の協力が必須となることから、継続して道路愛護事業に努める。

構成事務事業の事後総合評価

[illegible]

評価対象外の構成事務事業一覧

[illegible]

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
【量】道路愛護事業参加人数	94.73%	↓:低下	
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	94.73%	中	B:おおむね順調
	達成状況の原因分析、説明等		
	高齢化に伴い参加人数が減少傾向ではあるが、官民連携により道路美化に努めた。		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい
構成事務事業に課題はないか	ない
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	地域の美化意識の向上及び組織の強化などに有効である。
今年度の成果等	道路橋梁維持管理事業については、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、下河原橋外1橋の補修工事を施工した。道路橋梁整備事業については、昨年に引き続き市道栄町6号線道路改良工事(L=72.0m)外5路線の道路改良及び用悪水路改良工事を施工した。道路愛護事業については、35団体の自治会において道路美化活動を実施し、6,726人の参加があった。
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち		
施策	快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	快適な都市機能の維持		
取り組み事項	秩序ある都市空間を形成する		
主管部局	建設農林部 都市整備課	関連部局	農林水産課

めざす暮らしの姿

快適な都市機能の維持

基本方針

日常生活に密着する公共インフラについて、計画的かつ効率的に整備及び維持管理を行い、快適な都市機能の維持に努めます。

また、市域全体を見据えた中で、各地域の実情に合った土地利用を促進し、秩序あるまちづくりを計画的に進めます。

施策の方針

土地利用の現況・地域特性などを考慮し、長期展望に基づき、都市機能の計画的な整備及び適正な土地利用を促進します。

また、土地の実態を正確に把握し、土地の有効活用及び保全を図るために、地籍調査を推進します。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	3.13	2.92	4.16	3.09	0.0	0.0
会計年度任用職員数	1.07	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0
人件費計	22,748,708	23,362,910	28,038,409	22,978,988	0	0
事業費計	22,151,436	26,027,420	26,719,105	23,347,000	0	0
フルコスト	44,900,144	49,390,330	54,757,514	46,325,988	0	0

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定国庫支出金	227,000	0	369,000	650,000	0	0
特定県支出金	13,902,210	17,094,000	15,821,000	10,995,000	0	0
財市債					0	0
源その他	0	1,000	1,000	1,000	0	0
一般財源1	30,770,934	32,295,330	38,566,514	34,679,988	0	0
一般財源2	8,022,226	8,932,420	10,528,105	11,701,000	0	0

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	【量】狭あい道路整備事業助成金交付件数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	5	5	5	3	3	3
単年度実績値	2	0	1			
単年度達成率	40%	-	20%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	【量】狭あい道路整備事業助成金交付件数
前年度との比較	↑：向上
所見	道路後退用地を市に寄附する際の分筆・測量費用を助成し市が適正に管理することで、交通、災害対策等の都市機能の向上を図った。

構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価	上位責任者の評価	総合評価
	担当者所見	方向性及び所見	

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
土地利用規制等対策事業	
屋外広告物取扱事業	
地籍調査事業	
都市計画総務費事務経費	
土地区画整理事務経費	
建設管理課事務経費	
都市整備課事務経費	
狭あい道路整備事業	

施策の事後総合評価

(1)施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
【量】国土利用計画法届出件数	266.66%	↑:向上	
【量】狭あい道路整備事業助成	20%	↑:向上	
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	143.33%	高	B:おおむね順調
	達成状況の原因分析、説明等		
	道路後退用地を市に寄附する際の分筆・測量費用を助成し市が適正に管理することで、交通、災害対策等の都市機能の向上を図った。		

(2)施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい
構成事務事業に課題はないか	ない
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	国・県等の受託事務であり継続実施する。 また、緊急車両の通行や防災機能の向上を図るため、狭あい道路の解消に向けて継続していく。
今年度の成果等	狭あい道路整備事業については、道路後退用地を市に寄附する際の分筆・測量費用に対して1件助成し、隅切り用地について1件買い取りを行った。
第三者評価委員会意見	

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	050101020006	事務事業名	道路愛護事業			
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	快適に暮らせるまちづくり			
基本施策	快適な都市機能の維持	取り組み事項	道路などの整備と適切な維持管理に努める			
部名	建設農林部	課名	都市整備課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	市道の草刈りや側溝清掃などの道路愛護事業を実施した自治会に対し、参加人数・実施時間・作業距離に応じて報奨金を支出する。					
対象	市道の草刈りや側溝清掃などを実施した自治会					
目的	市民に道路の清掃活動に参加してもらうことで、道路を大切にしようとする心を育み、直接的・間接的に道路美化を促す。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令						

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.16	0.16	0.2	0.0	0.0	0.0
会計年度任用職員数	0.07	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	1,184,423	1,253,273	1,297,582	0	0	0
事業費計	401,920	454,960	459,040	0	0	0
フルコスト	1,586,343	1,708,233	1,756,622	0	0	0

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	401,920	460,000	460,000	0	0	0
フルコストー特定財源	1,184,423	1,248,233	1,296,622	0	0	0
事業費計ー特定財源	0	-5,040	-960	0	0	0

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】道路愛護事業参加人数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	6,180	6,200	7,100			
単年度実績値	6,180	7,006	6,726			
前年比	-	113.36%	96%	-	-	-
単年度達成率	100%	113%	94.73%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1		参加人数1人当たりのフルコスト				
単位		円／人				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	256.6898	275.5215	247.4115			
単年度実績値	256.6898	243.8243	261.1689			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	道路の清掃のみならず、ポイ捨てなどの予防啓発にも繋がっており、効果的な道路美化が図られている。	なし
有効性	A: 有効性が高い	地域住民自ら清掃活動に参加することで、道路美化の意識が向上し、快適な都市機能の維持にも繋がっている。	なし
効率性	A: 効率性が高い	地域住民が実施主体であり、各地域の実情に応じた効率的な事業に実施ができています。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	清掃活動実施時の保険の加入や草刈り機等の貸出について周知し、参加者の増加や効率的な事業の実施に繋げる。	なし
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページ等で活動に対する助成金の周知を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	高齢化により参加人数が減少傾向ではあるものの、地域の清掃活動なくしては道路美化が保たれないことから、今後も引き続き継続して事業を実施する。
休止・廃止となったときの影響	地域の美化活動の縮小が予想され、地区の道路状況の悪化が懸念される。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	地域の道路美化活動を推進し、快適に暮らせるまちづくりを実現させるためにも継続して実施していく。